

永平寺町スマートシティ事業実行計画（福井県永平寺町）

移動・情報・医療等の分野において、災害時等に特にその利用が困難になる住民の支援を行うため、先端技術の導入を行いつつ、サービス提供がより効率的・効果的に実施されるよう行政事務の効率化を推進する。

目標

- 行政事務効率化により、住民サービスが向上したと感じる住民の割合・・・75%以上
- 防災情報システムの住民認知度・・・60%以上
- 災害時遠隔医療対応避難所数・・・町指定避難所の全て

取組概要

- 永平寺町におけるスマートシティの取組み
 - 行政事務の効率化
 - RPA等の導入による定型業務の効率化
 - 住民問合せの自動応答システム導入
 - ワンストップ災害対応システムの構築
 - 災害情報インターネットシステムの利用導入
 - 町内重点箇所への自動センシングシステムの導入
 - 災害時における遠隔医療の活用
 - オンライン健康相談の実施
 - オンライン診療の実施
- スマートモビリティの取組み
 - 自動運転・・・レベル3自動運転の実用化
 - デマンドタクシー・・・運転支援技術の導入

将来像

永平寺町におけるスマートシティのビジョン IT技術による安全・安心の持続的向上

災害時における医療サービスの確保

災害情報および対応状況をワンストップで住民に見える化

住民サービス向上のための行政事務効率化

持続可能な移動手段の確保

災害時の医療確保

災害時の一元的な情報提供

行政事務の効率化

住民サービス向上

永平寺町

住民の安全・安心の向上

職員リソースの有効活用

少子高齢化が進む地方での、スマート化による持続可能なまちづくり

体制

○行政事務の効率化

リソースの有効活用

○災害時におけるオンライン診療活用の検討

○ワンストップ災害対応システムの構築

まちづくり株式会社

永平寺町

日本工営

町内診療所ほか町内の薬局等関係医療機関

支援

東京大学先端研、森ビル

MaaS分野の取組み
(本計画と別に計画策定)

スケジュール

2020年度実装済

- ・レベル3自動運転
- ・デマンドタクシー

2022～2023年度実装

- ・RPAの導入
- ・問合せ自動応答システム

ワンストップ災害対応システムに町独自の重点箇所のセンシングを加えて実装

2024年以降実装

避難所における遠隔診療